



学校だより

大塚

特別号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/otuka-s/>

平成27年3月18日

京都市立大塚小学校 NO.14

TEL 592-6141

**学校教育目標** 自らの個性を生かし、主体的・意欲的に活動する子の育成

次々と一段高い目標に向かって挑戦し続ける学習集団づくりを基盤に～



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で

学びを共に育む京都市民意識を実践しよう!

京都はくくみ

梅の開花に春の訪れを感じる今日この頃です。年度末、新しい学年に向けての準備等、何かと忙しい毎日をご過ごされていることと思います。皆様には、日頃より本校教育にご理解・ご協力いただきありがとうございます。

さて、本校では、例年7月と2月に保護者・地域の方々から学校評価を頂き、その結果を真摯に受け止め、教育実践の改善・推進に努めております。今年度も、同じ観点について、子ども達・保護者・教職員のそれぞれの立場で振り返るための項目を設定し、アンケートを実施しました。お忙しい中、今年度2回目のアンケートにご協力頂き、誠にありがとうございました。アンケートの結果及び考察について公表し、学校・保護者・地域が一体となって現状を確認し、それぞれの立場で課題を明らかにして、今後の教育活動の実践に生かしていくことが大切であると考えております。共に子ども達の健やかな成長につないでいきましょう。

なお、マークシート方式によるアンケートを実施し、コンピュータソフトによる集計作業をおこなったため、読み取り不能となったデータが若干あったり、未記入の項目も全体数に入れる処理をしてしまったりすることが僅かに起き、結果の合計が100%になっておりません。その点どうぞご理解いただきますようお願いいたします。

### <学校評価アンケートの集計結果について>

「学校生活は、楽しいか」「勉強はわかりやすいか」「先生に大切にしてもらっているか」の項目では、A(そう思う)、B(大体そう思う)を合わせ前回同様 90%前後の子ども達や保護者の方からよい評価を得ていることを嬉しく思っています。しかし、「勉強はわかりやすいか」の項目の低学年を見てみると、C(あまりそう思わない)、D(そう思わない)を合わせて 10%以上あり、気になります。今後もさらにわかりやすい授業へ向けて、精一杯取り組んでいきたいと考えています。

「友達を大切にしているか」の質問にも 90%以上の方からよい評価を得ています。子ども達の人間関係づくりは、比較的うまく進んでいるようです。子ども達の友だち関係が益々スムーズにいくよう、教職員も引き続き子ども達をサポートしたり、指導したりしながら、見守っていきたいと考えています。ご家庭でのご支援や言葉かけも重要なポイントです。ご協力どうぞよろしくお願いします。

「先生に相談できるか」の項目は、C・Dを合わせた割合が他と比べると少し多いです。この結果を学校として大変重く受け止めています。信頼関係こそ教育活動の原点と考え、今後さらに心に寄り添う接し方に心掛けていきます。そして、必要な時に助けを求めたり、相談をしたりできる信頼関係を更につくっていきたいと考えています。

「毎日必ず宿題をするか」の項目は 90%の子ができていますと答えています。保護者の方が、しっかりと声かけなどをしてくださった結果であり、家庭学習の定着が進み、習慣化してきているのでしょう。とても、嬉しい傾向です。しかし、「家庭での読書」も、「している」と答えている子が前回と比べると、低学年で 73%から 67%に、高学年で 55%から 49%に下がっています。アンケートの記述欄に「宿題や自主勉強するように声をかけていますが、読書を勧める声かけを忘れていました」とありました。読書は、学力の基盤となる大切な『ことばの力』を養い、「本の世界」でたくさんの経験をさせてくれます。この春の進級の機をとらえ、改めて家庭での読書に力を入れていただきたいと思います。

「元氣よく挨拶をしているか」の項目では、低学年は 85%がA(そう思う)、B(大体そう思う)と答えています。しかし、高学年になると 83%となり、前回よりも下がってきています。引き続き意識付け等をして、挨拶を大切にしていきたいものです。また、「学校であったことを話す」という項目については、A(そう思う)、B(大体そう思う)と答えている保護者が 96%となり、保護者の方が心がけていただいていることが伝わってきます。学校からも良いコミュニケーションのきっかけになるような情報がお伝えできるよう心がけたいと思います。

地域行事への参加についての意識は、低学年で 66%から 78%に増加しました。保護者アンケートの記述欄にも「夏祭り、区民運動会、もちつき大会など地域の行事がたくさんあり、よいことだと思います」とありました。学校で育てるもの、家庭や地域のなかで育てるもの、それぞれがその役割をしっかりと自覚し、連携し合って子ども達の健やかな成長を支えることが重要であると考えています。

9月の学校運営協議会で話題になった親子の対話での低学年の意識の低さについては、A・Bを合わせて 75%から 79%へと増えました。保護者の方から、ホームページで学校の様子を知り、家庭で話題にしているという声をいただきました。今後も対話が増えるよう学校の様子をホームページや学級通信等で伝えていきたいと考えています。今後も、学校は保護者の皆様・地域の皆様と共に協働して教育活動を推進していきたいと考えています。どうぞご支援・ご協力をよろしくお願いします。